



# 大森六中だより

令和4年 12月号  
大田区立大森第六中学校  
統括校長 菅野 哲郎  
TEL 3726-7155



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization

## 優しい気持ち

12月10日は世界人権デーです。その云われは、法務省のホームページで次のように示されています。

昭和23年（1948年）12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。

世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、初めて人権保障の目標ないし基準を国際的にうたった画期的なものです。採択日である12月10日は、「人権デー（Human Rights Day）」と定められています。

世界人権宣言は、策定された年からも分かる通り、第二次世界大戦の戦禍を踏まえて、二度と同じ戦争が起こらないように全世界が誓ったものです。

戦争は最も人権がないがしろにされている状態です。

そして日本では、人権デーに因んで人権週間を次のように定めています。

人権デーを最終日とする1週間（12月4日から12月10日）を「人権週間」と定め、昭和24年（1949年）から毎年、法務省の人権擁護機関が各関係機関及び団体とも協力して、全国的に人権啓発活動を特に強化して行っています。

いじめや児童虐待、インターネット上の人権侵害、感染症や障害等を理由とする偏見や差別、ハンセン病問題など、様々な人権問題が依然として存在しています。

これらの問題の解決には、私たち一人一人が様々な人権問題を、「誰か」の問題ではなく、自分の問題として捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めることが不可欠です。

朝礼で紹介した昨年度の「少年の主張」の動画では、片腕の無い妹が、街で心無い言葉に傷つき、泣いて悲しむ様子から、当時岐阜県養老町立高田中学校3年の細川士禾さんが、差別について深く考えることの大切さを訴えていました。

誰に対しても公正公平で、思いやる気持ち。これがどんな勉強よりも大切なことであり、皆さんが身に着けて欲しいことです。

第30回全国中学生人権作文コンテスト入賞作文集の中で、次のような文章が目に残りました。

「人権」について考えること。それはとても難しいことのように思えるが、意外と簡単なことではないだろうか。同じ人間同士が並んで歩くための人と人との間の権利。私たちが無意識のうちに作り出している優劣の壁を取り払うこと。自分の価値観を人に押しつけないこと。自分も相手も同じひとり人間なのだ、その人の心に寄り添い、理解し合う努力こそ、人権を守る大きな力になると思う。  
(佐賀市立東与賀中学校 3年 江川 麻理香さん)

改めて我が身を振り返りたいと思います。

# 持続可能な社会の担い手づくり

大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

## 平和を考える会

例年行われている「六中 平和を考える会」ですが、11月14日（月）残念ながら今年度もオンラインで行いました。

全学年の発表者が、平和について考え、調べ、話し合い、プレゼンの練習を重ねてきました。発表者はもちろんですが、聞き手の側にも大きな学びがあり、現在起こっている平和を脅かす事柄が、歴史的背景の中にあたり、人の心に生まれる嫉妬や邪心、利己主義、文化の価値観の相違などにより生まれていることを知り、これからの未来を考え、創造するための推進力になっています。

### この木を知っていますか？

最後に、皆さん知っていますか？



校庭にある「アオギリ」の木です。

”戦争が終わって  
平和になるんじゃない。  
平和な毎日に  
戦争が侵入してくるんだ。”

### 広島へのメッセージ



「That someone, somewhere  
will soon make a change  
We are all a part of  
Gods great **big family**」

(和訳)

「知らんぷりの日々はもう終わりだ  
僕らはみな神の一部 大きな家族」



毎年この行事を終えると、一步成長した生徒の姿を見ることができ、感動します。早く世界中の人が平和だと思える時代にしたいものです。

## 落ち葉掃き

洗足池清掃では、落ち葉はきが最盛期を迎え、枝についていたわずかな葉もとうとうすべてが落ち、紅葉の彩りが一掃され、木々の様子も寒々しくなりました。いよいよ冬も本番です。みなさん風邪等引かれぬようご自愛ください。



## 2年生 出前授業

12月4日、2年生の教室に4か国の留学生の方をお招きし、授業を行っていただきました。言語や気候、民族衣装、食文化など写真を用いて丁寧に紹介していただき、各国への理解を深めることができました。授業の終わりには生徒から日本に来て驚いたことなど、多くの質問ができました。



家庭科では日本毛織株式会社の方をお招きし、繊維や衣服についての授業を行っていただきました。羊の毛の束を引っ張りどこまで伸ばすことができるかを実際に体験したり、2種類の生地で撥水の仕方の違いを実験したりしました。



## 新入生説明会

小池小、赤松小、清水窪小の6年生及び新入生の保護者に向けて生徒会による学校紹介と部長による部活動紹介が行われました。春に新しい六中生を迎えるのが楽しみです。



## 令和4年度 作品展

12月7日から13日にかけて、生徒たちが日々の学習活動のなかで制作した作品を展示しました。同級生や他学年の学びの成果を目の当たりにし、あこがれの念を抱いたり、懐かしげに眺めたりと、思い思いに観賞を楽しむ生徒たちの姿が見られました。



## 人権啓発作品展

12月10日の「世界人権デー」に合わせ、12月2日から9日にかけて、大田区小・中学校人権啓発作品展が池上会館にて開催されました。本校からも、標語・習字・ポスターなどの多くの生徒作品が出展されました。

人権標語代表作品

「あざ笑い背中に刺さる無数の矢 一人を守る盾になれ」

「同じ『心』 同じ『命』 がそこにある」

